

## 水道管の漏水の早期発見方法は？

まず、漏水の疑いが強い症状としては・・・

- 水まわりの壁や床がいつも濡れている。
- 水道管の埋まっている地面（給水管の立ち上り付近や止水栓付近等）が雨も降らないのにいつも濡れている。また、その付近の雪解けが早い。
- 水道を使っていないのに、蛇口や給水管で「シュー」や「ゴー」という音がする。振動がある。
- 水の出が悪い。水圧が弱い。あるいは全く水が出ない。

などの症状があります。この様なときには、



- (1) 家の中の全ての蛇口を閉めます。
- (2) 水道メーターの蓋を開けて、パイロット（メーター内の銀色の丸い形のもの）が回っていないかを確認してください。

ふたを開ける



パイロットが回っていないか確認する

パイロット



少しでもパイロットが回っていれば、メーターの先で漏水していると考えられます。

- (3) 直ぐに指定給水装置工事事業者に修理（使用者負担）を依頼して下さい。
- (4) パイロットが早く回るほど大量に漏水しています。大きな漏水と分かった時は、一時的に止水栓（元栓）を閉めて水を止めてください。
- (5) 漏水により水道料金が高額になった場合は減免制度がございますので、町民生活課へご相談ください。また、事業者からの書類が必要になるので、修理の際に事業者へもご相談ください。

漏水は料金の増加に直結しますので、

時々メーターを調べて早期発見・修繕を心がけましょう

<最後に>

漏水は夏冬構わずに発生します。メーターや止水栓の位置を常に確認し、いつもきれいにしておきましょう。メーターや止水栓の上に物を置かず、土砂や雑草で埋もれることの無いようにお願いします。冬場は除雪、凍結防止等の管理を充分にお願いします。